

問題

平面上に四辺形 ABCD があって、どの頂点も、残りの頂点の作る三角形の外部にある。△BCD の重心を  $A_1$ 、△CDA の重心を  $B_1$ 、△DAB の重心を  $C_1$ 、△ABC の重心を  $D_1$  として、四辺形  $A_1B_1C_1D_1$  を作る。

1. 線分  $AA_1$ ,  $BB_1$ ,  $CC_1$ ,  $DD_1$  は 1 点 P を共有する。
2. (1) において、点 P は各線分をどのような比に分けるか。

解答

どの頂点も他の三角形の内部に無いから、各三角形の重心  $X_1$  は四辺形の内部にある。  
 適当な点 O をとって O から ABCD へのベクトルをそれぞれ  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$ ,  $\vec{c}$ ,  $\vec{d}$  とする。  
 また  $A_1, B_1, C_1, D_1$  へのベクトルを  $\vec{a}_1, \vec{b}_1, \vec{c}_1, \vec{d}_1$  とする。

$$\begin{aligned}\vec{a}_1 &= \frac{\vec{b} + \vec{c} + \vec{d}}{3} \\ \vec{b}_1 &= \frac{\vec{a} + \vec{c} + \vec{d}}{3} \\ \vec{c}_1 &= \frac{\vec{a} + \vec{b} + \vec{d}}{3} \\ \vec{d}_1 &= \frac{\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}}{3}\end{aligned}$$

線分  $AA_1$  は  $p\vec{a} + (1-p)\vec{a}_1$  で表せる。

同様に線分  $BB_1$  は  $q\vec{b} + (1-q)\vec{b}_1$

線分  $CC_1$  は  $r\vec{c} + (1-r)\vec{c}_1$

線分  $DD_1$  は  $s\vec{d} + (1-s)\vec{d}_1$

と表せる。

したがってそれぞれの線分は  $p\vec{a} + \frac{1-p}{3}(\vec{b} + \vec{c} + \vec{d})$ ,  $q\vec{b} + \frac{1-q}{3}(\vec{a} + \vec{c} + \vec{d})$ ,  $r\vec{c} + \frac{1-r}{3}(\vec{a} + \vec{b} + \vec{d})$ ,  $s\vec{d} + \frac{1-s}{3}(\vec{a} + \vec{b} + \vec{c})$  と表せるので

$q = r = s = \frac{1}{4}$  とすると

すべて  $\frac{1}{4}\vec{a} + \frac{1}{4}\vec{b} + \frac{1}{4}\vec{c} + \frac{1}{4}\vec{d}$

となって同一のベクトルとなる。

したがってこの終点を P とすると同一の点 P を共有する。

2.

上記より点 P はそれぞれの線分を 1 : 3 に分割する。

証明終了